

ごみ問題

問 官民一体・協働で研究会発足を

答 しばらくは今のシステムで啓蒙



柏原孝至議員

【ごみ問題】

問

今村民の間で、ごみに対する関心が高まっています。ごみの減量、生ごみの堆肥化、分別回収、リサイクル等「総合的な処理システム」を作ることが必要だと思えます。村民にも参加していただき、研究会を発足させてはいかがでしょうか。

村長

村が決めた17分別の徹底がされたなら、焼却するごみの量は、相当量減らすことが可能となります。しばらくは各行政区の衛生組合長とも連携しながら、分別意識の向上のため、今のシス

テムで啓蒙を続けて行きたいと思えます。

問

ごみ減量化、堆肥化についての予算化は。

村長

家庭用生ごみ処理機、入補助、学校等の給食生ごみの堆肥化、ごみ・リサイクル物の分け方・出し方ガイドブック等の広報費を合わせて、230万円余りを計上してあります。

問

自然に土になるごみ袋を、村で使用することはできませんか。

村長

生分解性袋は、生ごみをみや光によって徐々に分解されるため、長時間生ごみを入れておくことができません。木曾広域でも、生ごみはポリ容器に保管し、ごみを出す直前に、生分解性袋に移して出すようになっていきます。このような素材への転換につきましては、堆肥化センター

のような施設が、本村に可能になった暁の話になるものと考えています。

問

生ごみの堆肥化を、村内の業者を育成してできませんか。

村長

観光地であるがゆえの場所の問題、運搬システム、作られた堆肥の消費・流通につきましても、道筋がないとできないものです。安易に推進できるご提案ではありませんが、村内事業者の動向には注視していきたいと思えます。

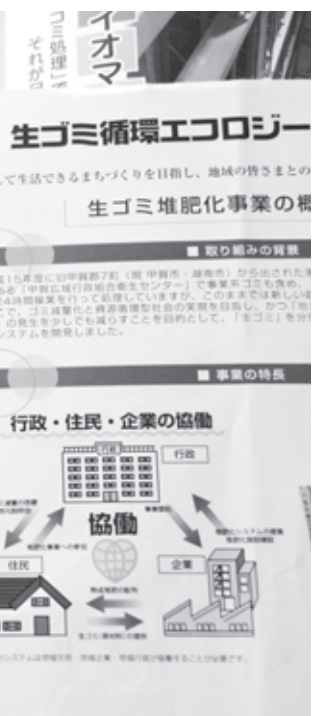
【観光産業発展のための諸政策】

問

世界・日本経済の不況が続く中、観光に対しての不況は2年から3年遅れてくると言われていますが、対応策は。

村長

お客様の視点で、村独自の環境と歴史に磨



協働で生ごみ堆肥化実現を（先進地視察資料）

きをかけ、観光局の提案、承認事項である「白馬観光の意識改革」の推進で、村民参加による強い白馬村観光を実現していくことが、継続可能な観光立村白馬村の実現であると考えます。

村長

地区の中に、対象となるエリアがありまして、花の里づくり計画に位置付けた事業として申請していただければ、村としても支援するつもりです。

問

花の里づくりの本年度の取り組みで、農地